



令和 7 年度 SAITAMA 社会貢献賞



**COEDO KAWAGOE F.C
株式会社**



COEDO KAWAGOE F.C株式会社



代表者名	代表取締役 有田 和生
設立	2020年9月
所在地	川越市元町2-1-6 蔵の街てらす2F
主な事業内容	サッカークラブ
従業員数	5人

COEDO KAWAGOE F.C株式会社の社会貢献活動

年間ホームタウン(地域貢献)活動実施回数 約**120回**



◆実施した取り組み

川越市的基本計画に則り、
サッカークラブの強みを生かし地域の課題解決を
目指す取り組みに積極的に参加。
年間を通して120回ほどの取り組みを行なっている。

①環境

『COEDOクリーン活動』
『花植えイベントへの参加』

②スポーツ

『小学生向けサッカー教室』
『地元中学生へのサッカー指導』
『DRONCOサッカー/畑でサッカー イベント』

③農業

『農業収穫体験』

④観光

『川越まつり/Shingashiわくわくフェスティバル/百万灯祭りへの参加』

KAWAGOEクリーンウォーク



地元の祭りへの出店



川越水上公園 花壇整備活動



トマト定植&ピザ作り



小学生向けサッカー教室



畑でサッカ一体験



サッカークラブ
「COEDO KAWAGOE F.C.」



地域の課題



課題テーマと相性の良い
パートナー企業を
巻き込みながら
地域の課題解決へ



今回の事例:環境課題×環境系のパートナー企業様「日本ウエスト関東株式会社」様

スマートゴミ箱『SmaGO』設置へのスポンサーマッチング

観光中心地である蔵の街商店街への
スマートゴミ箱『SmaGO』設置



■**地域課題**: 埼玉県屈指の観光地・蔵造りの建物が並ぶ商店街「川越一番街商店街」では、観光客増加に伴う食べ歩きによるゴミのポイ捨てや道路汚損等の環境問題等に係る課題があった

■**対策**: 川越市役所や川越商店街のクリーンアップ委員会はその対策として、IoTスマートゴミ箱「SmaGO」の設置を決定。しかし設置に対して予算がかかるため、その予算の拠出先で困っていた。

■**弊社の施策**: 関係者より相談を受け、環境意識が高く、環境分野での事業展開するパートナー企業「日本ウエスト関東株式会社」様へ本件を相談。「日本ウエスト関東株式会社」様としても地域貢献を目指していたが、単独ではなかなか踏み切りにくかったが、弊社の方でデザイン等ディレクションし、設置実現に向けて各所調整を行なった。

今後に向けて

Jリーグを目指すだけではなく、「フットボールクラブを通じて、川越に夢と感動を創出し続ける」というクラブのミッションの実現に向けて、川越にとって価値ある活動を継続的に実施していきます。

環境だけではなく、地域に多く存在する地域課題を、関係者を多く巻き込むことができるフットボールクラブという事業特性を活かし、今後もさらに地域の課題解決に尽力していきたい。

設立5年で、パートナー企業様は330社を突破

※J1(Jリーグ)平均210社



川越市の企業様を中心に、パートナー(スポンサー)企業は毎年着実に増加。
スポンサー企業同士のビジネスマッチング等を通して、スポーツを軸にした地域経済活性を目指す。

